

第79回 KTSM 実技セミナー in 県南病院

KTBC の理解&基礎コース



開催報告

●開催概要基礎セミナー（KTBC，ポジショニング，スクリーニング評価，食事介助，）

「口から食べることをサポートする包括的スキル」

【開催目的】

年々高齢化率が高まる中，ここ串間市も 40%台と高水準となっており，その中で院内でも摂食嚥下障害の患者さんも多く，院内でも携わる機会が増えてきている．患者様の状態を総合的に評価し，正しい知識・技術で安全に的確な食事のサポートを行っていくことが重要となる．

しかしながら，串間市では摂食嚥下リハビリテーションに対する取り組みが積極的に行われていないのが現状である．当院では，3年前より摂食嚥下の専門医の指導のもと「口から食べる」ことをサポートするための活動を行っており，また今年1月に小山先生に当院にて「口から食べることをサポートする包括的スキル」について講義・実技指導をいただいたことで，職員全体での意識も高まってきている．患者さんの気持ちに寄り添い，人生の最期まで「口から食べる」ことをサポートすることは，我々医療従事者にとって責務でありそのためにも知識・技術の習得に努めなければならない．KTSM 実技セミナーを通して，院内全体でのスキルアップを図り，串間市全体での活性化，串間市から宮崎県へ，そして全国へと発信できる取り組み・人材育成を目的とする．

会期：平成31年3月23日（土）10：00～16：30

会場：県南病院（認知症疾患医療センター）

受講者：29名（県南病院職員24名・院外受講者5名）

主催：県南病院（認知症疾患医療センター）

共催：NPO法人 口から食べる幸せを守る会
口腔リハビリテーション研究会

後援：串間市

●プログラム概要

- ① 全体講義：口から食べることをサポートする為の包括的スキル 【講義】
 - KT バランスチャート（KTBC）の展開方法
 - 基本食事介助スキルについて「KTBC の理解」
- ② 事例展開：事例展開 【演習】
 - ワークシートに沿った展開
- ③ 実技演習：基礎演習及びニーズに応じた演習 【演習】
 - ベッド上でのポジショニング
 - 早期経口摂取に向けたスクリーニング評価
 - ベッドサイドでの食事介助（全介助・一部介助）
 - シーティング
 - 車イス上での食事介助（セルフケア拡大）
- ④ 全体まとめおよび質疑応答 【まとめ・質疑応答】

●担当講師およびアドバイザー

氏名	所属	職種（摂食嚥下に関する資格）
小山 珠美 (神奈川)	NPO 法人口から食べる幸せを守る会理事長 JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院	看護師 (日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士) KTSM 実技認定者
竹市 美加 (兵庫)	NPO 法人口から食べる幸せを守る会副理事長 訪問看護ステーション「たべる」	看護師 (摂食嚥下障害看護認定看護師) (日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士) KTSM 実技認定者
清山 美恵 (宮崎)	みえ eat デンタルクリニック	歯科医師 (日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士) KTSM 実技認定者
下川 圭佑 (宮崎)	医療法人 十善会 県南病院	看護師

小山先生、竹市先生を中心に当院非常勤医である清山歯科医師の4名のアドバイザーに加え、院内サポーターとして右記の7名の方々にご協力いただきました。また今回のKTSM実技セミナーを県南病院で開催するにあたり、多くのスタッフが協力してくださりました。

院内サポーター 一覧

氏名	所属
大塚 民代	看護部 看護部長
武田 セイ子	看護部 病棟師長
長渡 由紀	栄養科 科長
田中 由美	栄養科
坂口 達朗	総務部
桑田 恵津子	総務部
野辺 南菜	総務部

●セミナー受講者について

図1 所属先別受講者数〔人〕

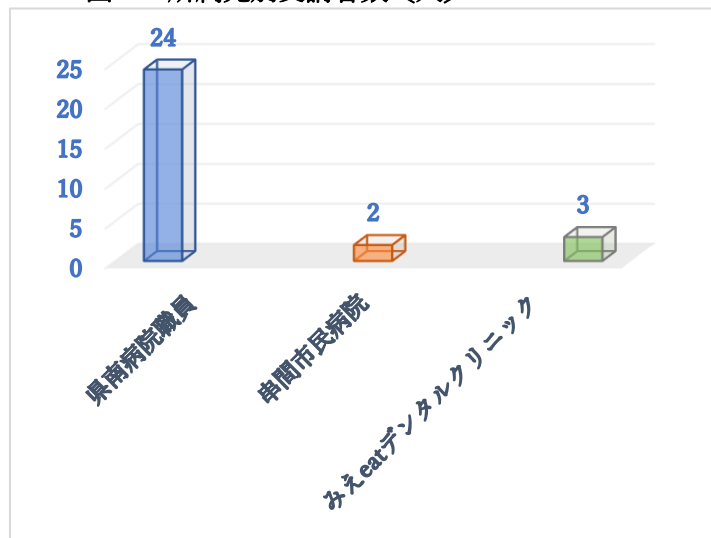


図2 受講者の性別（上）および年齢（下）

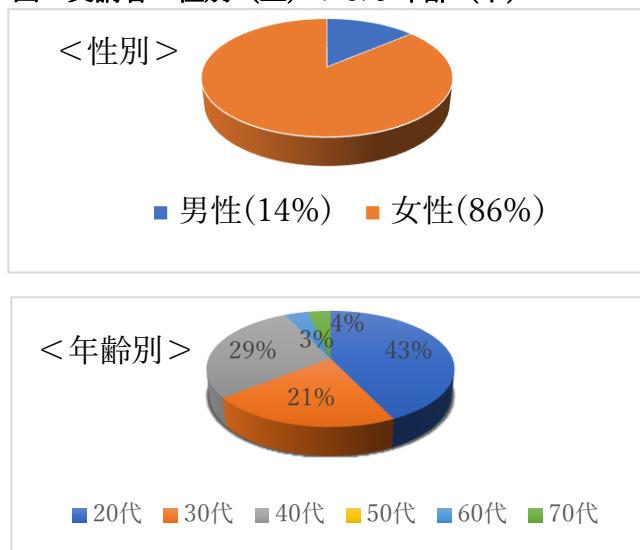


図3 職種別受講者数

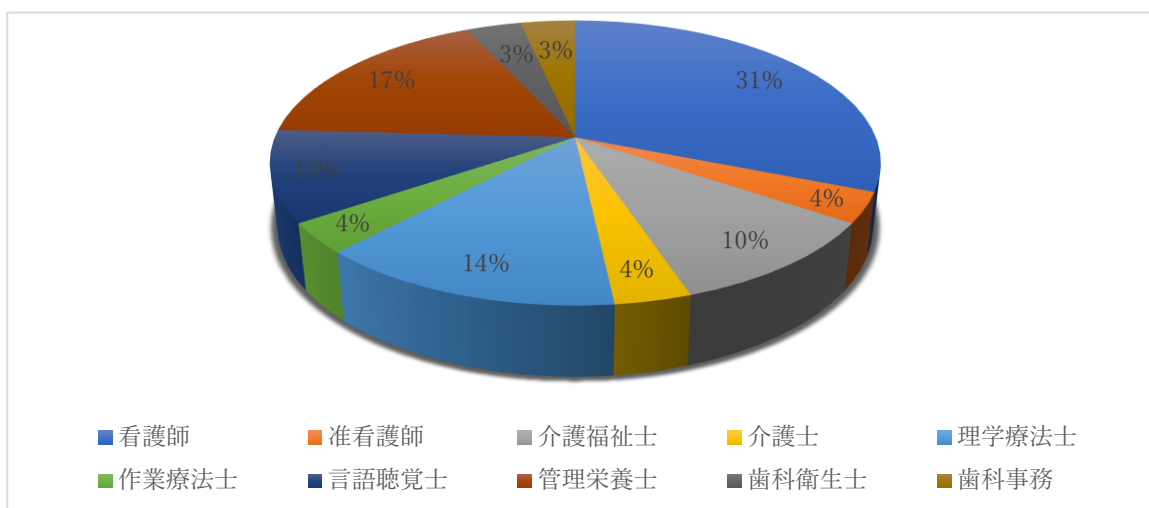
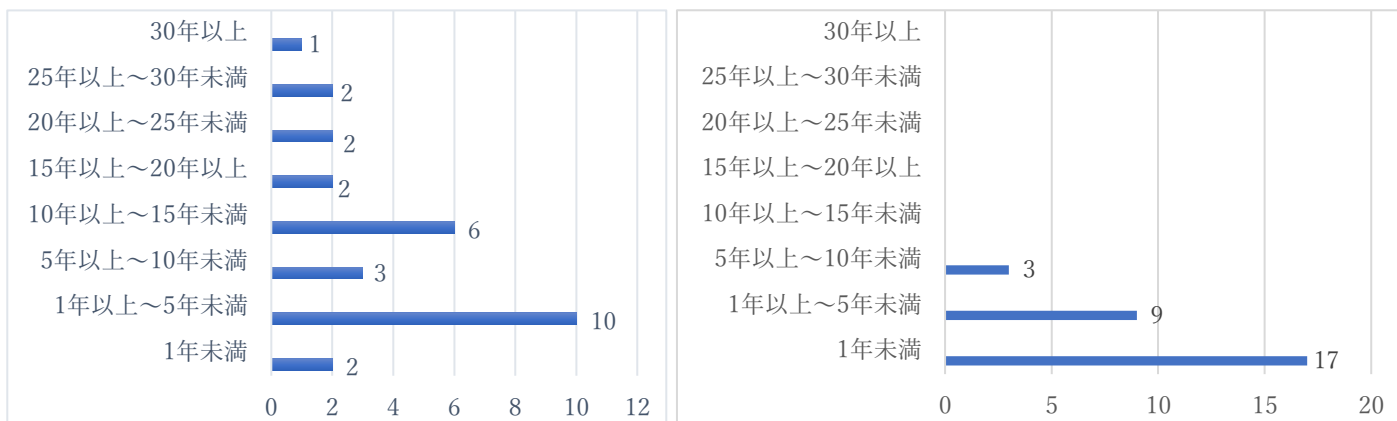
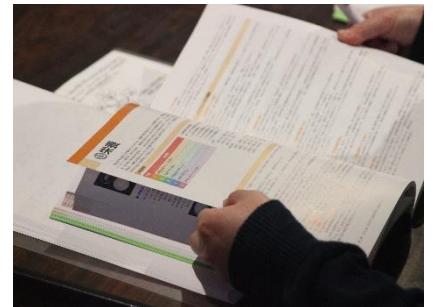


図4 職種実務年数（左）および摂食嚥下リハ経験年数（右）



●セミナー風景

【講義・事例展開】

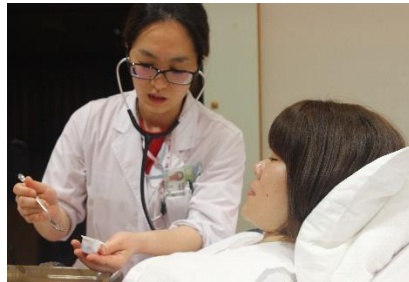


【実技演習】

ポジショニング・ベッドサイドスクリーニング評価 (MWST・FT)

食事介助：全介助 (45度)・一部介助 (60度)・シーティング



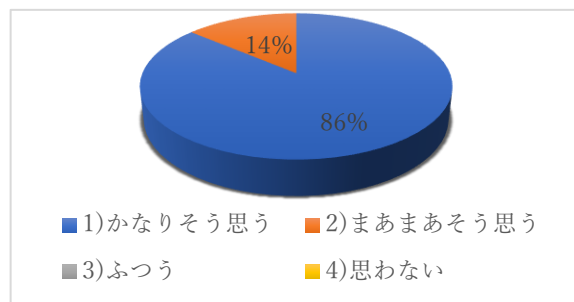




●アンケート集計

1. 本日のセミナーは、口から食べる技術に関して、ご自身のスキルアップにつながりましたか？

- 1) かなりそう思う 25名
- 2) まあまあそう思う 4名
- 3) ふつう
- 4) 思わない



2. セミナーの内容で特に印象に残った点は何ですか？

- ・口から食べることの重要性を再確認しました。多職種が連携していくことで患者さんが笑顔になれるんだ！と思いました。事務の私でもできる事、可能性を見つけていきたいです。
- ・口から食べる事は老人、病気の人達には困難な事だと思いましたし、少し手を差しのべる事で食べられる様になるんだと思いました。
- ・KT バランスチャート評価やアセスメント等
- ・KT バランスチャートの使い方を実際に行ってみて、使いやすさを実感しました。
- ・KT バランスチャートが包括的に多職種で評価でき、素晴らしいと思いました。経過も分かりやすくおえる点も良いと思いました。
- ・KTBC のつけ方やアセスメントの立て方がとても勉強になりました。
- ・KTBC 評価後の計画立案が以前より理解できた。
- ・KT バランスチャートをつけることで患者様の全体像やアセスメントを考えれることを学ぶことができたことです。
- ・実際に KT バランスチャートを使ったケアを受けた患者様が、目標だった自宅復帰を達成し笑顔で食事をしているという紹介が印象的でした。
- ・何事も知ることが大事だなと思いました。KT バランスチャートを使ってアセスメント、計画、評価すること大変勉強になりました。
- ・KT バランスチャートの活用、ベッドサイドでのスクリーニング評価。
- ・KT バランスチャート活用方法、実技を通しての介助方法。
- ・事例展開、事例を評価していったアプローチするまですごく難しかった。
- ・経管栄養から退院して歩けるようになった症例を見て KT バランスチャートが重要だと思いました。
- ・ポジショニングを行った際、調整を行うのに掛布団をスネイク状に使用していた。クッション等がたくさんないのでとても参考になりました。
- ・ポジショニングの重要性。
- ・ポジショニングの大切さを学びました。またスプーンを噛む患者様の対応方法などを教えて頂き勉強になりました。
- ・姿勢保持
- ・姿勢調整と介助の仕方。
- ・姿勢の保持、食べてもらう角度（スプーンの動き）、タイミング確認。
- ・スクリーニング方法について
- ・食事介助、ポジショニングの仕方

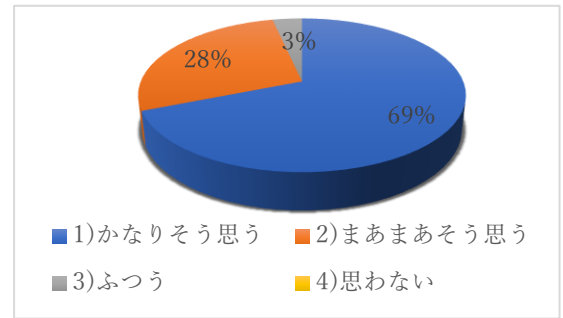
- ・ゼリー食の介助の仕方、思った以上に深くスプーンが入っていた。患者役もやってみて苦痛な姿勢など 参考になりました。
- ・ポジショニングや食事介助全ての動作において、患者様のことを第一に考えた行為をすることに思ったよりいろんなことを考えながら取り組まないといけない大変さです。
- ・少しの工夫で楽になったり、何気ない動作が不快を与えてしまうということを自分が実際に患者様の役になってわかったこと。
- ・患者となって姿勢が悪いと食べにくい、食べる事に疲れるという体験をしたので、今回学んだクッションの位置、使用方法を病棟で行かせたい

3. どうして、今回県南病院（串間市）で行いました、KTSM 実技セミナーを受講されましたか？

- ・現在、食事介助の患者がとても多く、できるだけムセなく安全に手際よく介助をしたいという事を自分で食べられる患者様が 증가するようにと思い参加しました。
- ・病棟入院患者さんの食事の現状・口腔内環境・ポジショニングの問題、疑問があり勉強したくて受講しました。
- ・実技のスキルアップのために、また自分の技術があっているかの再確認。
- ・嚥下、呼吸について学びたかったのと実践的な指導が受けられるところ。
- ・経口維持加算を取得しているので、ラウンド時に評価をしたり今後のNSTの活動において経口より食事をとることが重要であると考えているので。
- ・毎回勉強になるので今回も参加しようと思いました。
- ・自分のスキルアップのため
- ・普段から病棟で行われている勉強会に参加している中で、もっと自分の技術を高めて最善の食事介助が行えるようになりたいと思ったため。
- ・前回、見学でKTSMセミナーを受けさせて頂き、とても勉強になったため。
- ・9月の宮崎でのセミナーから時間が経っていたので、振り返りのため。
- ・清山先生から勉強になるから是非すすめられて、以前より興味があり、受講したいと思っていたから。
- ・前回の研修に参加しましたが、手技に自信がなく再度学習する必要があると思ったので。
- ・自分が行っているポジショニング、介助の仕方が正しいのか、また実践的な実技の指導を受けたかったため。
- ・上司の勧めもありますが、スキルアップしたいと思い受講しました。
- ・前回宮崎でのセミナーを受け、スキルアップのために受講しました。
- ・食事介助や食事開始のテストの面で分からない点があったため。
- ・院内の勉強会に何度か参加していますが、なかなか実技をする機会がなかったため実技研修を受けてみたいと思ったためです。
- ・なかなかこのような勉強会をする機会もないので、理学療法士として関われるのはどのようなことかがあるのかを知りたくて受講しました。
- ・病棟内で案内があり、ぜひ勉強しようと思い受講した。
- ・リハ職でも摂食嚥下リハに関われることを知ったため受講しました。
- ・病棟に食事介助する患者が多いからです。
- ・チームの一員として少しでもスキルアップ出来たら良いと思ったため。
- ・患者様に対してのポジショニングや介助方法のスキルアップをしたいと思ったため。

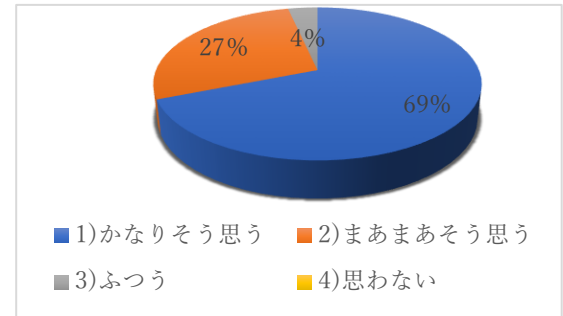
4. 本日の受講において、受講希望当初の目的は達成できましたか？

- | | |
|-------------|-----|
| 1) かなりそう思う | 20名 |
| 2) まあまあそう思う | 8名 |
| 3) ふつう | 1名 |
| 4) 思わない | |



5. 今後の実践場面で活用できると思いますか？

- | | |
|-------------|-----|
| 1) かなりそう思う | 20名 |
| 2) まあまあそう思う | 7名 |
| 3) ふつう | 2名 |
| 4) 思わない | |



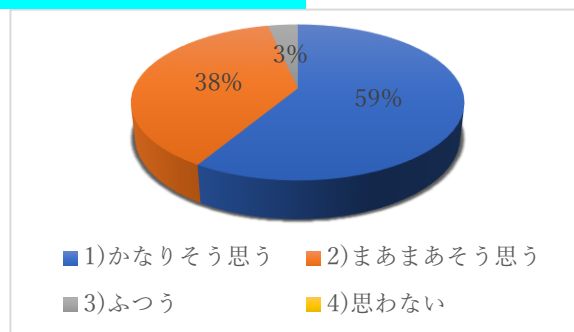
★どんな場面で活用できると思いますか？

- ・口腔ケアの徹底と声掛け（他のスタッフへ）、食事時の食事摂取状況を観察し KT バランスチャートを用いて症例発表したいと思いました。
- ・スクリーニング（水飲みテスト、フードテスト）、KT バランスチャートのつけかた。
- ・病棟のポジショニングに活かしていきたい。
- ・担当患者さんのポジショニングの見直しを行いたい。
- ・自分の担当患者様のポジショニング調整。
- ・食事介助の際のポジショニングや食介の仕方を利用できると考えました。
- ・食事やりハビリを行う際の姿勢、ポジショニング
- ・食事をすくうという動作が難しい患者さんがいるので、ポジショニングや手添え介助など ST さんとも相談しながら活用していきたいです。
- ・毎食事、患者さんのポジショニングの確認の出来ない場合は気づきを他のスタッフに声掛けする。
- ・食事介助を行う場面が多く、また ST で嚥下障害がある方がいるので、リラックスできる状態でポジショニングを行うときなど。
- ・食事時、片麻痺、スプーンが握れない人が多くいるので活用します。
- ・食事介助の時に活用、入院患者様の評価。
- ・食事介助等にて活用していきたいと思う。
- ・スプーンをかむ人の介助の仕方を実際の患者さんで今回習った事を実践していきたいと思います。
- ・病棟訪問時の食事介助の時。
- ・実際の食事場面や、認知機能が悪化し開口がなかなか見られない方に対して活用していきたいと思います。
- ・実際に患者様の食事介助をする際に活用していきたいと思います。
- ・食事介助、嚥下評価、アセスメント評価や計画時に参考になるなと思いました。
- ・食事介助が必要な患者様に対し、どれだけおいしく提供できる食事介助技術を目指したいと思っていたので自分の技術、スキルアップにつなげたい。
- ・病棟では食事介助の必要な方が沢山います。今日学んだことを活かしていきたいと思います。

- ・今まで全介助で食事介助をしていた方なのですが、しっかりとポジショニングを行ってセッティングすると自分で食べ始め、現在一部介助で食べられています。実際にそのような事例を体験したので、食事介助の仕方を改めて見直したいと思いました。
- ・車椅子移乗し、食事摂取している方の傾きがひどく食べこぼしが多い。シーティングを行い実践につなげたい。
- ・様々な職種で摂食に興味をもち、知識を深めていきたい。勉強会や治療に活かしていきたい。
- ・多職種との連携が不十分であったので今後連携を図っていきたいです。リハビリでも口から食べることにつなげるための訓練を実施していきます。
- ・在宅介護で参加していますので、多職種連携の中での動きが出来る様になりたいと思います。
- ・病棟の特性上、該当患者が居ないが高齢者や認知症の方が増えているため実践する機会もあると思います。
- ・今回が初めてなので活用にまでは達していません。

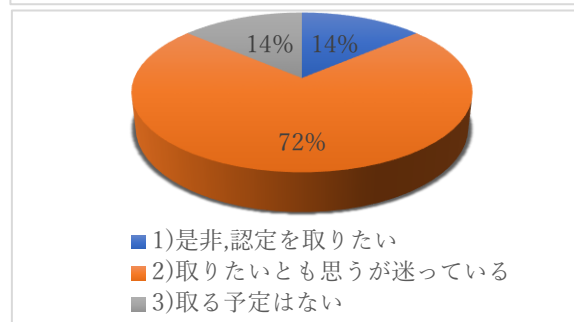
6. 今後、宮崎でKTSMの実技セミナーを開催予定されれば、参加したいと思いますか？

- | | |
|-------------|-----|
| 1) かなりそう思う | 17名 |
| 2) まあまあそう思う | 11名 |
| 3) ふつう | 1名 |
| 4) 思わない | |



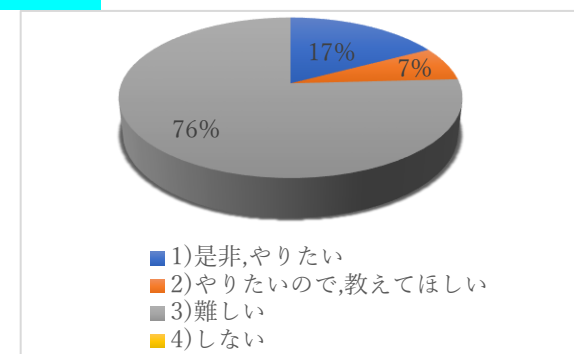
7. 今後、KTSM実技認定を取得したいと思いますか？

- | | |
|-------------------|-----|
| 1) 是非、認定を取りたい | 4名 |
| 2) 取りたいとも思うが迷っている | 21名 |
| 3) 取る予定はない | 4名 |



8. このようなセミナーや研修会を企画して、開催したいと思いますか？

- | | |
|------------------|-----|
| 1) 是非、やりたい | 5名 |
| 2) やりたいので、教えてほしい | 2名 |
| 3) 難しい | 22名 |
| 4) しない | |



●終わりに



陸の孤島と呼ばれている宮崎でも更に離れた場所にある串間市で KTSM 実技セミナーを開催できたことを大変うれしく思います。講師、実技指導を承ってくださった小山先生、竹市先生、ご指導ありがとうございました。また小山先生には前日、串間市民対象に講演をしていただき、串間市での摂食嚥下リハビリテーションに関する理解度が少しずつ深まってきていると感じました。今回、セミナーで学んだことを実践に活かすためにも院内での摂食嚥下リハビリテーションの活動を活発に行い、串間市と連携・協力が図られていけるように取り組んでまいりたいと思います。

第79回 KTSM 実技セミナーに参加ありがとうございました。

医療法人 十善会 県南病院
下川圭佑

